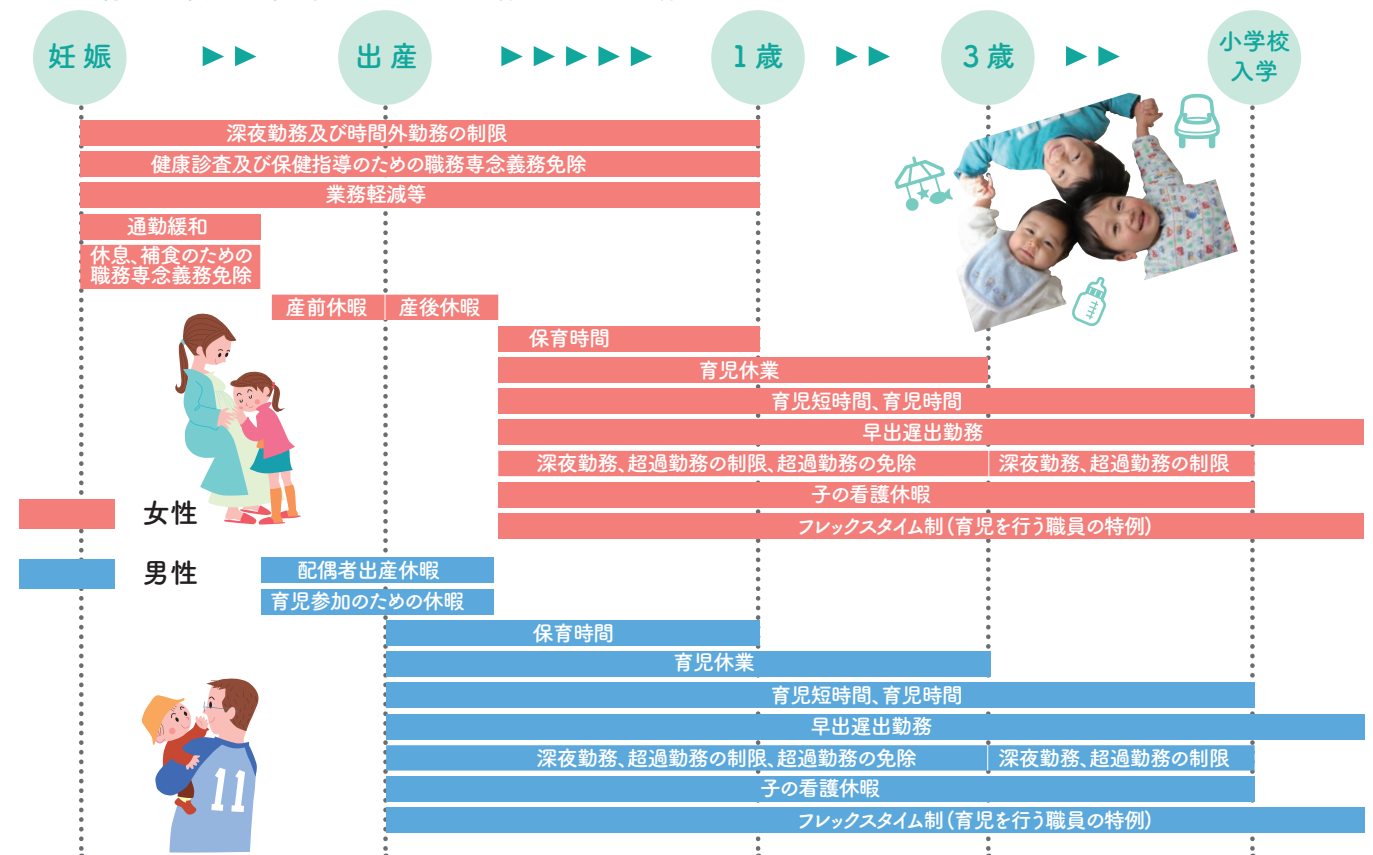


中部地方整備局では、ワークライフバランスを推進し、男性も女性もともに働きやすい職場となるように、育児や介護等と両立して活躍できる勤務環境の整備に取り組んでいます。



仕事と育児の両立を支援するために整備されている様々な制度



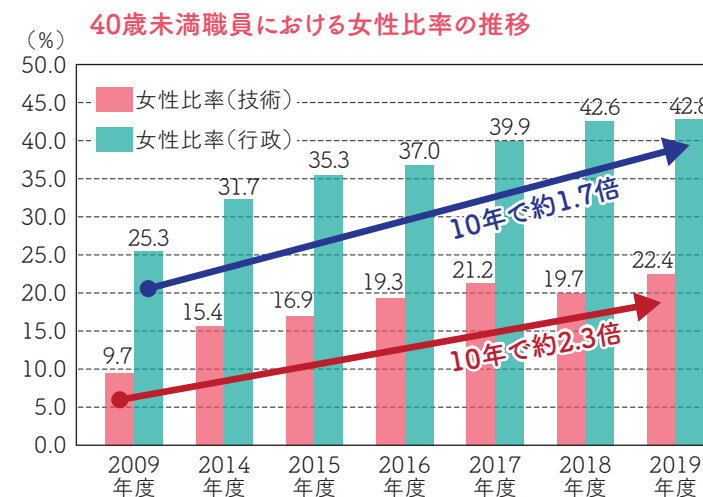
活躍中の女性たちの真剣な眼差しや輝く笑顔が溢れています！



近年、女性の活躍がめざましいなか、当局では女性職員が年々増加しているとともに、性別に関係なく活躍できる場が広がっています。

中部地方整備局の女性の働く割合は40歳未満で事務系職員が約40%、技術系職員が約20%です。技術系職員はまだ少ないように見えますが近年1～5年目の技術系職員は約30%を占めています。技術系職員で入省しても家庭と両立しながら活躍している女性職員もたくさんいるので技術系の女性の方でも安心して入省できます。

県域を越えたスケールの大きいインフラ事業や防災事業など“中部の未来”へ、そして“日本の未来”へつなげる仕事を私たちと行いませんか？



平成17年度入省（行政）
新丸山ダム工事事務所 総務課 係長
栗本 文恵さん

利用した制度及び期間

産前産後休暇…H27.1.16～H27.6.4
育児休業……………H27.6.5～H29.3.31
育児時間……………H30.1～現在

私は産前産後休暇と2年間の育児休業を取得してから職場に復帰しました。入省時から、育児休業や育児時間を利用しながら仕事と育児を両立している職員が同じ職場におり、そんな姿を自然に受け入れていたので、育児休業中、私も育児時間を利用して働くことを想像していました。復帰が近づき、忙しい職場で育児時間の利用に不安が出てきましたが、上司に相談すると「子どものことを一番考えて」という言葉をいただき、安心して復帰することができました。

現在は、保育園の迎えのために育児時間を1時間取得し、休憩時間の短縮も利用しています。職場では、帰りの時間や子どもの体調に気遣ってもらい、本当に感謝の日々です。こうして支えてもらいながら、仕事も一生懸命に、育児も大切に毎日を過ごしています。



平成15年度入省（土木）
河川部 河川計画課 係長
高井 徹さん

利用した制度及び期間

育児休業……………H29.8～H29.9

私は2人目の子供が生まれるときに育児休業を取得しました。1人目の子供が生まれた後の数ヶ月間が想像以上に大変だったからです。本当に大変なのは女性で男性は少しのお手伝いしかできません。私は赤ちゃんが泣いても気づかない、眠くて起き上がれない時が多々あったと思いますが、母親の代わりはおらず、妻が必ずお世話をしています。

育児休業を取得して良かったことは、一番大変な時期に育児参加できたこと、家族が増えて不安定になりがちな2歳の長男と一緒にいることができたことです。

私にとって仕事は大事ですし、家族はもっと大事です。それらのバランスをとるための制度、環境が整っている職場だと思います。仕事も子育ても周囲の協力があってこそ出来るものですので、感謝の気持ちを忘れずにいたいと思います。



昭和60年度入省（行政）
河川部 建設専門官
尾畑 三幸さん

経歴

S60.4.1 ●用地部 用地第一課 採用
H19.4.1 ●中部技術事務所 総務課 研修係長
H25.4.1 ●庄内川河川事務所 占用調整課長
H30.4.1 ●河川部 建設専門官

私は事務系職員として、総務、経理、河川管理等の様々な業務を経験してきました。

現在は、主に河川関係の訴訟担当として、国が当事者となる行政訴訟、国家賠償請求訴訟等の事実調査や書面の作成を行っています。場合によっては、「国の指定代理人」として裁判所へ出向き、訟務活動を行うこともあります。私は法律を専門に勉強したわけではありませんが、仕事を通して学ぶ機会を得て、周りの人々と協力し合い業務に取り組んでいます。

女性にとって結婚、妊娠、出産、育児、介護等のライフイベントは、仕事を続けていく上で大変な事ではありますが、その時々に必要なサポートを受けながら、がんばっている職員がたくさんいます。女性のもつ可能性を引き出すことのできる職場であり続けるために、私も努力を続けたいと思います。



平成11年度入省（農業土木）
建設部 都市整備課 係長
野村 三奈さん

経歴

H11.4.1 ●沼津工事事務所 工務第三課 採用
H25.4.1 ●木曽川下流河川事務所 海津出張所 技術係長
H27.4.1 ●木曽川上流河川事務所 河川公園課 公園係長
H30.4.1 ●建設部 都市整備課 公園係長

国土交通省と聞くと、道路や河川、港湾事業を想像されると思います。私は入省以来、主に河川の管理や環境に関わる仕事をしてきましたが、現在は国営公園の整備と維持管理を行っています。

人々のレクリエーションの場として、安心安全に遊び、心身ともにリフレッシュできる場となることを目標に日々努めています。数あるレクリエーション施設から、この公園を選び来園してくれた方に「楽しかった、また来たい」と満足していただけたときは本当に嬉しく、やりがいを感じます。

中部地整の仕事は、私たちの生活に様々な形で密接に関わっています。ここでは土木の知識はもちろんですが、女性としての感性や母親としての目線など、活かせる感覚がたくさんあります。

受験生の皆さん、中部地整で自分の知識や感性を思う存分発揮しながら、自分らしくできる仕事をみつけませんか？一緒にお仕事ができる日を楽しみにしています。

※職員の経歴は一部抜粋しています。